

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2001-62038(P2001-62038A)

【公開日】平成13年3月13日(2001.3.13)

【出願番号】特願平11-243485

【国際特許分類第7版】

A 6 3 F 5/04

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 3 C

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月29日(2005.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外周面に複数の図柄が描かれたリールを複数同軸にして横方向に並べた回転リール部と、前記各リールの外周面の一部分を遊技者に見せるための観察窓と、前記各リールごとに用意された停止スイッチとを備え、スタートスイッチの操作によって前記各リールを回転させ、前記停止スイッチの押下に従って対応するリールを停止させ、すべてのリールが停止した際ににおける前記観察窓内の停止態様が有効なライン上に特定の図柄が揃う当選パターンのとき、遊技者に有利な条件で遊技を行うことのできる特別遊技状態に移行して遊技者に利益を付与するスロットマシンにおいて、

遊技状態切替手段と、遊技状態表示手段と、入賞図柄表示手段と、自動当選手段とを備え、

前記当選パターンには、揃えるべき図柄が異なる複数種類のものがあり、

前記遊技状態切替手段は、前記停止スイッチを所定のタイミングで押下することによって前記複数種類の中のいずれかの当選パターンが出現し得るように設定された当選可能状態と前記停止スイッチの押下されたタイミングにかかわらず前記いずれの当選パターンも出現しないように設定された当選不可状態とに遊技状態を切り替えるものであり、

前記遊技状態表示手段は、前記当選可能状態に設定されているか否かを遊技者に通知するものであり、

前記入賞図柄表示手段は、前記当選可能状態に設定されたとき該設定された当選可能状態で出現し得る当選パターンが前記複数種類の中のいずれかの当選パターンであるかを遊技者に通知するものであり、

前記自動当選手段は、前記当選可能状態で行われた遊技において全てのリールが停止した際の停止態様が前記入賞図柄表示手段によって通知された当選パターンにならないとき、前記当選パターンにならない原因となつたリールを再回転させた後、該リールを前記当選パターンが成立するように停止させることを特徴とするスロットマシン。

【請求項2】

前記当選パターンは、同一の図柄を所定の複数揃えるものであり、前記入賞図柄表示手段は、設定された当選可能状態で出現し得る当選パターンを構成する一の図柄を表示するものであることを特徴とする請求項1に記載のスロットマシン。

**【請求項 3】**

前記特別遊技状態には、遊技者に付与する利益が異なる複数種類のものがあり、前記当選可能状態は前記特別遊技状態の種類と1対1に対応付けて複数の種類が設けてあり、

前記遊技状態表示手段は、前記複数種類の中の何れかの当選可能状態に設定されているかを表示するものであることを特徴とする請求項1または2に記載のスロットマシン。

**【請求項 4】**

前記自動当選手段は、前記当選可能状態で行われた遊技において全てのリールが停止した際の停止様が1つのリールの停止位置のみが原因で前記当選パターンにならないとき、前記当選パターンにならない原因となったリールを再回転させた後、当該リールを前記当選パターンが成立するように停止させることを特徴とする請求項1、2または3に記載のスロットマシン。

**【請求項 5】**

前記自動当選手段は、遊技者が停止させたリールのうちの少なくとも1つが前記当選パターンを構成する位置で停止しているときだけ、前記当選パターンにならない原因となったリールを再回転させた後、当該リールを前記当選パターンが成立するように停止させることを特徴とする請求項1、2または3に記載のスロットマシン。

**【請求項 6】**

前記自動当選手段は、遊技者が停止させたリールのうちの少なくとも最初に停止させたリールが前記当選パターンを構成する位置で停止しているときだけ、前記当選パターンにならない原因となったリールを再回転させた後、当該リールを前記当選パターンが成立するように停止させることを特徴とする請求項1、2、3、4または5に記載のスロットマシン。

**【請求項 7】**

前記当選パターンを構成し得る図柄の描画されている数が他のリールに比べて少ないリールを設けたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5または6に記載のスロットマシン。

**【請求項 8】**

前記当選可能状態では、前記当選パターンが出るように前記各リールの停止位置を対応する停止スイッチが押下されたタイミングから所定の制御範囲を限度に調整するとともに、前記制御範囲が他のリールに比べて狭く設定されたリールを設けたことを特徴とする請求項1、2、3、4、5または6に記載のスロットマシン。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

**【発明の属する技術分野】**

本発明は、外周面に複数の図柄が描かれたリールを複数同軸にして横方向に並べた回転リール部と、前記各リールの外周面の一部分を遊技者に見せるための観察窓と、前記各リールごとに用意された停止スイッチとを備え、スタートスイッチの操作によって前記各リールを回転させ、前記停止スイッチの押下に従って対応するリールを停止させ、すべてのリールが停止した際ににおける前記観察窓内の停止様が有効なライン上に特定の図柄が揃う当選パターンのとき、遊技者に有利な条件で遊技を行うことのできる特別遊技状態に移行して遊技者に利益を付与するスロットマシンに関する。

**【手続補正3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【 0 0 0 4 】**

スロットマシンは、適切なタイミングで停止スイッチを押下すれば、当選パターンが有効ライン上に出現し得る当選可能状態と、どのようなタイミングで停止スイッチを押下しても有効ライン上に当選パターンが出現しない当選不可状態の各遊技状態を有しており、乱数抽選などにより予め定めた確率に従って当選可能状態が現れるように設定されている。

**【手続補正4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【 0 0 0 7 】**

また、当選不可状態で目押しを行っても無駄であることと、ビッグボーナスとレギュラーボーナスとでは当選パターンとして揃えるべき図柄が異なることから、今、当選可能状態に設定されているか否かとどの図柄を狙って目押しを行うべきかが分からなければ、たとえ技量を有する者でも効率良く目押しを行うことができないという問題があった。

**【手続補正5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【 0 0 0 8 】**

本発明は、このような従来の技術が有する問題点に着目してなされたもので、当選可能状態に設定されたとき、だれでも容易に当選パターンを揃えることができるとともに技量のある者は目押しを楽しむことのできるスロットマシンを提供することを目的としている。

**【手続補正6】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【 0 0 0 9 】****【課題を解決するための手段】**

かかる目的を達成するための本発明の要旨とするところは、次の各項の発明に存する。

[ 1 ] 外周面に複数の図柄が描かれたリール(3 0 a ~ 3 0 c)を複数同軸にして横方向に並べた回転リール部と、前記各リール(3 0 a ~ 3 0 c)の外周面の一部分を遊技者に見せるための観察窓(1 5 a ~ 1 5 c)と、前記各リール(3 0 a ~ 3 0 c)ごとに用意された停止スイッチ(1 2 a ~ 1 2 c)とを備え、スタートスイッチ(1 3)の操作によって前記各リール(3 0 a ~ 3 0 c)を回転させ、前記停止スイッチ(1 2 a ~ 1 2 c)の押下に従って対応するリール(3 0 a ~ 3 0 c)を停止させ、すべてのリール(3 0 a ~ 3 0 c)が停止した際ににおける前記観察窓(1 5 a ~ 1 5 c)内の停止態様が有効なライン上に特定の図柄が揃う当選パターンのとき、遊技者に有利な条件で遊技を行うことのできる特別遊技状態に移行して遊技者に利益を付与するスロットマシンにおいて、

遊技状態切替手段(1 1 0)と、遊技状態表示手段(6 3、1 6 0)と、入賞図柄表示手段(6 4、1 6 0)と、自動当選手段(1 2 1)とを備え、

前記当選パターンには、揃えるべき図柄が異なる複数種類のものがあり、

前記遊技状態切替手段(1 1 0)は、前記停止スイッチ(1 2 a ~ 1 2 c)を所定のタイミングで押下することによって前記複数種類の中のいずれかの当選パターンが出現し得るように設定された当選可能状態と前記停止スイッチ(1 2 a ~ 1 2 c)の押下されたタイミングにかかわらず前記いずれの当選パターンも出現しないように設定された当選不可

状態とに遊技状態を切り替えるものであり、

前記遊技状態表示手段（63、160）は、前記当選可能状態に設定されているか否かを遊技者に通知するものであり、

前記入賞図柄表示手段（64、160）は、前記当選可能状態に設定されてたとき該設定された当選可能状態で出現し得る当選パターンが前記複数種類の中のいずれかの当選パターンであるかを遊技者に通知するものであり、

前記自動当選手段（121）は、前記当選可能状態で行われた遊技において全てのリール（30a～30c）が停止した際の停止態様が前記入賞図柄表示手段（64、160）によって通知された当選パターンにならないとき、前記当選パターンにならない原因となつたリールを再回転させた後、該リールを前記当選パターンが成立するように停止させることを特徴とするスロットマシン。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

[2] 前記当選パターンは、同一の図柄を所定の複数揃えるものであり、前記入賞図柄表示手段（64、160）は、設定された当選可能状態で出現し得る当選パターンを構成する一の図柄を表示するものであることを特徴とする[1]に記載のスロットマシン。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

[3] 前記特別遊技状態には、遊技者に付与する利益が異なる複数種類のものがあり、前記当選可能状態は前記特別遊技状態の種類と1対1に対応付けて複数の種類が設けてあり、

前記遊技状態表示手段（63、160）は、前記複数種類の中のいずれかの当選可能状態に設定されているかを表示するものであることを特徴とする[1]または[2]に記載のスロットマシン。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

[5] 前記自動当選手段（121）は、遊技者が停止させたリール（30a～30c）のうちの少なくとも1つが前記当選パターンを構成する位置で停止しているときだけ、前記当選パターンにならない原因となつたリールを再回転させた後、当該リールを前記当選パターンが成立するように停止させることを特徴とする[1]、[2]または[3]に記載のスロットマシン。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

[6] 前記自動当選手段（121）は、遊技者が停止させたリール（30a～30c）の

うちの少なくとも最初に停止させたリールが前記当選パターンを構成する位置で停止しているときだけ、前記当選パターンにならない原因となつたリールを再回転させた後、当該リールを前記当選パターンが成立するように停止させることを特徴とする[1]、[2]、[3]、[4]または[5]に記載のスロットマシン。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

遊技状態表示手段(63、160)は、当選可能状態に設定されているか否かを遊技者に通知する。また、当選パターンには、揃えるべき図柄が異なる複数種類のものがあり、入賞図柄表示手段(64、160)は、当選可能状態に設定されたとき、該設定された当選可能状態で出現し得る当選パターンが複数種類の中のいずれかの当選パターンであるかを遊技者に通知する。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

なお当選パターンが、同一の図柄を所定の複数揃えるものの場合には、入賞図柄表示手段(64、160)は、設定された当選可能状態で出現し得る当選パターンを構成する一の図柄を表示する。たとえば、青色「BAR」の図柄を3つ揃える場合には、入賞図柄表示手段(64、160)は、1つの青色「BAR」の図柄を表示する。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また特別遊技状態には、遊技者に付与する利益が異なる複数種類のものがあり、当選可能状態は特別遊技状態の種類と1対1に対応付けて複数の種類が設けてあり、遊技状態表示手段(63、160)は、複数種類の中のいずれかの当選可能状態に設定されているかを表示する。たとえば、ビッグボーナスとレギュラーボーナスの2つの特別遊技状態が設定されている場合には、ビッグボーナス用の当選可能状態とレギュラーボーナス用の当選可能状態が設定され、いずれの当選可能状態に設定されているかが遊技状態表示手段に表示される。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

なお、通常は、ビッグボーナス用の当選可能状態に設定されているときに揃えるべき当選パターンとレギュラーボーナス用の当選可能状態に設定されているときに揃える当選パターンとは異なるものになっている。したがって、現在、ビッグボーナスの出得る当選可能状態に設定されているときは、入賞図柄表示手段(64、160)には、ビッグボーナス用の図柄が表示され、さらに目押しで外れたときには、再回転の後に、ビッグボーナス用の図柄が揃うようにリールが自動停止することになる。

**【手続補正 1 5】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 2 4****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0 0 2 4】**

また、遊技者が停止させたリール(30a～30c)のうちの少なくとも1つが当選パターンを構成する位置で停止しているときだけ、当選パターンにならない原因となったりールを再回転させた後、リールを当選パターンが成立するように停止させる。当選パターンを構成する図柄が1つでも停止表示すれば、遊技者は当選パターンの出現を期待するし、その期待に的確に応えることができる。

**【手続補正 1 6】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 2 5****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0 0 2 5】**

また、遊技者が停止させたリール(30a～30c)のうちの少なくとも最初に停止させた1つのリールが当選パターンを構成する位置で停止したときだけ、当選パターンにならない原因となったりールを再回転させた後、該リールを当選パターンが成立するように停止させる。

**【手続補正 1 7】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 2 7****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0 0 2 7】**

当選可能状態に設定されているとき、当選パターンが出るように各リール(30a～30c)の停止位置を対応する停止スイッチ(12a～12c)が押下されたタイミングから所定の制御範囲を限度に調整するものでは、この制御範囲が他のリールに比べて狭く設定されたリールを設ける。このように制御範囲を狭くすることで当たりの図柄の描画数を少なくしたことと同じ効果を得ることができる。

**【手続補正 1 8】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 4 5****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0 0 4 5】**

なお、第1のリール30aは、B B当選パターンを構成する赤色「7」の図柄が比較的多数描画されており、その配置間隔が制御範囲内に収まるようになっている。したがって、B B当選可能状態に設定されていれば、第1のリール30aについては、どのようなタイミングでストップスイッチ12aを押下しても、必ず当選パターンを構成する赤色「7」の図柄が有効ライン上に停止するように制御される。

**【手続補正 1 9】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0 0 4 6****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0 0 4 6】**

一方、第2、第3のリール30b、30cは、赤色「7」の図柄の配置間隔が制御範囲

よりも広く設定されている。このため、第2、第3のリールについては、適切なタイミングでストップスイッチ12b、12cを押下しなければ、当選パターンに対応する図柄（当たり図柄）が出現しないようになっている。つまり、B B当選可能状態に設定されているとき、第2、第3のリール30b、30cについては、所謂、目押しを行う必要がある。

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

表示制御部160は、B B当選可能状態に設定されたとき、遊技状態表示部63に「B B」の文字を、R B当選可能状態に設定されたとき、遊技状態表示部63に「R B」の文字をそれぞれ表示する機能を有している。また表示制御部160は、B B当選可能状態に設定されたとき、今回のB B当選可能状態で揃えるべき当選パターンを構成する図柄を入賞図柄表示部64に表示する。同様にR B当選可能状態に設定されたときは、今回のR B当選可能状態で揃えるべき当選パターンを構成する図柄を入賞図柄表示部64に表示する機能を備えている。

【手続補正21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

より詳しくは、当選数値がB B当選数値であればB B当選可能状態に、R B当選数値であれば、R B当選可能状態に遊技状態を移行させる。さらにB B当選可能状態に設定されたときには、遊技状態表示部63に「B B」の文字を表示するとともに、今回のB B当選可能状態で揃えるべき図柄を入賞図柄表示部64に表示する。R B当選可能状態に設定されたときには遊技状態表示部63に「R B」の文字を表示し、かつ今回のR B当選可能状態で揃えるべき図柄を入賞図柄表示部64に表示する（ステップS408）。乱数抽選の結果が当選数値でなければ（ステップS406；N）、遊技状態を当選不可状態のままにする。

【手続補正22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0056】

一方、当選パターンが成立しない外れ状態で（ステップS410；N）、かつ当選可能状態に設定されてからの遊技実行回数が所定回数未満ならば（ステップS411；N）、遊技状態を当選可能状態のまま維持し、当選可能状態に設定されてからの遊技実行回数が所定回数に達したならば（ステップS411；Y）、当選パターンが出なくても遊技状態を当選不可状態に戻し（ステップS412）、遊技状態表示部63および入賞図柄表示部64を無表示状態に戻す（ステップS413）。

【手続補正23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

ピッグボーナス用の特別遊技状態に移行されると、以後、所定の解除条件が満足されるまでの間、極めて有利な条件で遊技が進行し、通常、遊技者は合計で300枚から400枚のメダルを獲得する。

【手続補正24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

図6は、再回転後にピッグボーナス用の当選パターンが揃う場合におけるゲームの進行状況の一例を示している。遊技状態がBB当選可能状態に設定されているので、遊技状態表示部63には「BB」の文字が表示され、入賞図柄表示部64には赤色「7」の図柄が表示されている。

【手続補正25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

スロット遊技では、スタートスイッチ13が操作されると全てのリールが回転する(図6a)。その後、遊技者がストップスイッチ12a~12cを押下したタイミングにしたがって各リールを停止させる(図6b、c)。ここで、BB当選可能状態に設定されていることおよび揃えるべき図柄を遊技状態表示部63および入賞図柄表示部64によって遊技者に通知しているので、遊技者は、入賞図柄表示部64に表示された図柄を狙って目押しを行うことになる。

【手続補正26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

本例では、第1のリール30aは、その円周方向外周面に制御範囲よりも狭い間隔で赤色「7」の図柄(ピッグボーナス用の当たり図柄)を配置しているので、どのようなタイミングでストップスイッチ12aを押下しても、BB当選可能状態に設定されれば、赤色「7」の図柄601が有効化されたライン(ここでは中央の横の有効ライン)上に停止表示される(図6b)。

【手続補正27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

このように、BB当選可能状態に設定されているときに行われたスロット遊技で遊技者の操作に基づいて停止した1または2以上のリールの停止位置が当選パターンを構成しないとき、自動当選制御部121は、図6dに示すように、外れの原因になった全てのリール30b、30cを再回転させ、その後、図6eに示すように、赤色「7」の図柄604、605が表示されるように第2、第3のリール30b、30cを停止させる。これにより赤色「7」の図柄が3つ揃って当選パターンが成立する。

【手続補正28】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0070】

レギュラーボーナス用の特別遊技状態に移行すると、以後、所定の解除条件が満足されるまでの間、有利な条件で遊技が進行し、通常、遊技者は合計で100枚程度のメダルを獲得する。

【手続補正29】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0072】

図9は、再回転後にRB当選パターンが揃う場合におけるゲームの進行状況の一例を示している。遊技状態がRB当選可能状態に設定されているので、遊技状態表示部63には「RB」の文字が表示され、入賞図柄表示部64には青色「BAR」の図柄が表示されている。

【手続補正30】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

このように、遊技状態がRB当選可能状態に設定されているにもかかわらず、全てのリールが停止した際にRB当選パターンが形成されなかったとき、自動当選制御部121は、図9dに示すように、外れの原因になったリール30a、30cを再回転させ、その後、図9eに示すように、RB当選パターンである青色「BAR」の図柄902、904、905が3つ揃うように第1、第3のリール30a、cを停止させる。

【手続補正31】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0076

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0076】

このように、BB当選可能状態あるいはRB当選可能状態に遊技状態が入ったにもかかわらず、遊技者のストップ操作に基づいて全てのリールを停止させた際にビッグボーナス用やレギュラーボーナス用の当選パターンが出ないとき、停止位置が不適当な全てのリールを再回転させ、これらを自動的に当選パターンができるように停止させるので、技量の未熟な初心者等であっても容易にビッグボーナスやレギュラーボーナス等の利益を得ることができる。さらに、BB当選可能状態やRB当選可能状態に設定されている旨およびそれらの状態で揃えるべき図柄が遊技者に通知されるとともに、最初は、遊技者が停止スイッチを押下したタイミングに基づいてリールを停止させてるので、技量のある者は、目押しのテクニックを十分に楽しむことができる。

【手続補正32】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

以上説明した各実施の形態では、赤色「7」の図柄をBB当選パターンとし、青色「B

「A R」の図柄をR B当選パターンとしたが、各当選パターンを構成する図柄はこれらに限定されるものではない。さらに、B B当選パターンやR B当選パターンをそれぞれ複数種類設け、各当選可能状態に設定されたときに揃えることのできる当選パターンをこれら複数種類の中のいずれか1つに限定し、またその1種類が当選可能状態に設定されるごとに変動するように構成してもよい。

【手続補正33】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

たとえばB B当選パターンとして赤色「7」を揃えるものと青色「7」を揃えるものの2種類用意し、B B当選可能状態に設定されたときいずれか一方だけを今回の当選可能状態で揃い得る当選パターンに選択し、その図柄を入賞図柄表示部64に表示する等である。

【手続補正34】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0080】

このほか、実施の形態では、2つあるいは3つ全てのリールが不適当な位置で停止した場合に、当選パターンにならない原因となったリールを再回転させた後、リールを前記当選パターンが成立するように停止させるように構成したが、外れの原因になったリールが1つだけの場合に限り再回転し、当選パターンにならない原因となったリールを再回転させた後、該リールを当選パターンが成立するように停止させる自動当選するように構成してもよい。

【手続補正35】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

さらに全てのリールが不適当な位置で停止した場合にも再回転が起こり、自動当選するように構成してもよいし、少なくとも1つのリールが当選パターンを構成する図柄で停止している場合に限り、当選パターンにならない原因となったリールを再回転させた後、リールを前記当選パターンが成立するように停止させるようにしてもよい。また少なくとも最初に停止させたリールが当選パターンを構成する図柄で停止した場合に限り、当選パターンにならない原因となったリールを再回転させた後、リールを前記当選パターンが成立するように停止させるように制限してもよい。

【手続補正36】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

さらに実施の形態では、一部のリールについて、当選パターンを構成する図柄の描画数を少なくしたが、描画数に代えて、制御範囲の広さを一部のリールだけ狭くしてもよい。また実施の形態では、一旦、当選可能状態に設定されると、当選しなければその状態が所定期間継続するようになっているが、スロット遊技を実行するごとに毎回、乱数抽選を行

い、各回ごとに当選可能状態とするか否かを選択するように構成しても良い。

【手続補正37】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0084

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0084】

【発明の効果】

本発明にかかるスロットマシンによれば、当選可能状態に設定されているか否かおよび当選可能状態でどの図柄を揃えるべきかが遊技者に通知されるので、遊技者は効率よく目押しを行うことができる。さらに、当選可能状態に設定されているときに行われたスロット遊技で目押しがうまくいかず、当選パターンが出なかったときには、外れの要因になつたリールを再回転させて当選パターンが出るようにこれらを自動的に停止させて、技量の未熟な初心者等であっても容易にビッグボーナスやレギュラーボーナス等の利益を得ることできる。